
籠の鳥 ---不死鳥と鬼---

箱眼鏡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

籠の鳥 - - - 不死鳥と鬼 - - -

【Nコード】

N5795Z

【作者名】

箱眼鏡

【あらすじ】

とある時代のとある御屋敷：
其処に？籠の鳥？がありました

《全式話》

とある時代の、とある御屋敷…
其処には繋がれた鳥がおりました。

その鳥はとても美しく、数年…数十年…数百年経っても死なないので
不死の鳥とも呼ばれました。

ある、春の日、屋敷に出入りしていた女が

『あの屋敷の籠の鳥の血を飲めば不老不死になれる。』

と、村人や屋敷の使用人たちに言いまわりました。

何故、女がそのような事を言ったのか…
それは何時まで経っても美しい籠の鳥に嫉妬したからです。

当然のように屋敷の鳥の血を求め争いが始まりました
そして、ある一人の男が鳥のもとに辿り着いたのです。

そんな事も知る由のない鳥は、男に

『遊びにきたの？』

と言いました。

男は何も言わず、刀を振り上げました
此処でようやく鳥は気づいたのです。

何故、一日に何人も来る使用人達が来なくなっただか

何故、目の前の男が己に刀を振り上げているのか

鳥は全て悟り、己の生は此処で終わる…と全て諦めました。

男が刀を振り下ろした瞬間

男の胸^{からだ}から、血が噴き出したのです。

鳥は混乱しました

何故？ この男の胸^{からだ}から 何故

わからない

何故 何故 赤い血が 何故？ わからない
わからない なぜ 何故 なぜ

なぜ このおとこは しんでいる？

カタッ…

『！ 誰…？』

鳥は音のした方に、そう問いかけました

音のした方から出てきたのは

『鬼』と呼ばれている青年でした。

『…貴方が…殺したの…？』

鳥はその青年に問いかけます

でも、青年から答はかえってきません。

そして青年は口を開き

『 共に、逃げよう』

そう、言いました。

『何…で…』

鳥は、青年の言っていることが理解出来ませんでした。

青年は混乱している事を、知ってか知らずか
鳥に、言いました。

『あんたは、日陰ひかげより、光ひかりが似合う。』

その言葉と共に、鳥は青年に恋をしました。

ドタドタドタ…

大きな足音が聞こえた時、
青年は鳥を抱きかかえ

『逃げるぞ。』

と言いました。

鳥は頷き、青年と共に外の世界へ逃げました

（後書き）

続きます。だって全弐話だもんっ

すいません忘れてください。

続編、頑張るので。

b y 箱眼鏡

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5795z/>

籠の鳥 ---不死鳥と鬼---

2011年12月19日12時46分発行